

特集 海外生向け

2024年

誌上大学・学校説明会

Springでは対面の説明会さながらの情報を海外で生活する受験生のご家庭へお届けします。
各校の特徴あるカリキュラムや入試情報を掲載していますので、
お子さまにぴったりの大学・学校を選択する一助になりましたら幸いです。

参加校一覧(掲載順)

慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス

関東学院六浦中学校・高等学校

桐朋女子中学校・高等学校

国際基督教大学高等学校

逗子開成中学校・高等学校

清泉女学院中学高等学校

桐光学園中学校・高等学校

富士見丘中学校高等学校

立命館宇治中学校・高等学校

「オンライン」でもぜひチェック!

各学校では「オンライン説明会」や「バーチャル授業体験」を実施したり、臨場感あふれる「学校説明会ムービー」なども公開しています。海外からも手軽に閲覧参加が可能ですので、ぜひご活用ください。Springではこれらの情報が入り次第ウェブサイトに掲載し、InstagramやLINEなどで発信しています。ぜひフォローして最新情報をお見逃しなく。



「2024年日本の中学・高校 学校説明会 日程一覧」はこちら
オンライン説明会情報も更新中!



帰国生におすすめの日本の中学・高校 一覧ページはこちら
学校情報や帰国生の体験記、Spring関連記事に簡単アクセス!



- オンライン説明会の日時は「日本時間」で記載されている場合が多いため、ライブ配信形式の場合は特に、「現地時間との時差」にご注意ください。
- オンライン説明会は各学校のウェブサイトで実施方法をよくご確認いただき、事前にダウンロードや各種設定を済ませてからご参加ください。



未来型キャンパスで学ぶ「総合政策学部」「環境情報学部」

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)は、最先端技術と自然が共存する未来型キャンパスとして1990年に設立されました。SFCでは総合政策学部・環境情報学部が一体となって「何が問題かを考え、解決法を創出する」教育を行い、未来を創る「先導者」としての力を養う教育を提供しています。

GIGA(Global Information and Governance Academic)プログラムは、授業を英語で履修できるプログラムです。学年、入試形態等にかかわらず本プログラムの科目の履修が可能で、約40の国と地域から集った優秀な留学生・帰国生と切磋琢磨し、日本にいながら英語で学ぶことが可能です。さらに、所定の要件を満たすことによりGIGAサティフィケート(修了証)を取得することができます。

GIGAプログラム

SFCを英語で紹介するインタラクティブな動画を公開しました。こちらのインタラクティブ動画では、SFCのカリキュラムや学びの特徴、入試制度、学生の声や奨学金、寮の情報など、クリック/タップで志願者の興味にあわせて動画コンテンツを閲覧していただける新しい設計となっています。ぜひご覧ください!



総合政策学部 学部長 加茂 具樹

いま国際秩序が大きく流動しているように、秩序は変化します。現実の世界に存在する問いは変化するのであって、問題を解決するための「政策を考える」学問もまた、柔軟な変化を求められています。本学部では、現実の世界と向き合い、総合政策という学問を通じて、未来を見通す展望力、状況を捉える分析力、政策を設計する構想力、政策の意義を訴える説得力、政策を実施する実行力とともに、それらの力を総合する力を備えたグローバルに活躍する学生を育てます。



環境情報学部 学部長 一ノ瀬 友博

私たちの考える環境情報学は、「環境」と「情報」という言葉に留まらず、先端情報システム、エクス・デザイン、先端生命科学、環境デザイン、人間環境科学という5つの分野から構成されている学際的な学問分野です。環境情報学部は、先を見通せない時代を生き抜き、未来を創造する先導者を生み出します。



進路/就職実績

国内外の第一線で活躍、多くの起業家も輩出

SFCで培った問題解決能力や国際的なコミュニケーション能力を武器に、外資系や総合商社、国際機関などグローバルに活躍できる業種へ就職しています。また、社会の諸問題に取り組むため、在学中から起業する学生もいます。

詳細: 🌐 <https://www.sfc.keio.ac.jp/studentlife/career/pmei.html>



入試情報

多彩な個性に応えるための幅広い入試制度

- 一般入試
- AO入試*
- ※ Admissions for the GIGA Program含む。
- 帰国生入試
- 留学生入試

最新の入試情報を必ずご確認ください。🌐 <https://www.sfc.keio.ac.jp/admissions/pmei/>



■ 11月23日(土)・24日(日)「SFC万学博覧会」

SFCの研究発表イベント「Open Research Forum (ORF)」「オープンキャンパス」などを2日間に結集。詳細はウェブサイトをご覧ください。

カリキュラム

多様な分野を自由に学び専門性を育む

- 既存の学問の枠にとらわれず、自由に履修可能なカリキュラム: 授業科目は学年別ではなく、必要な科目を基礎から応用まで選択可能。英語開講科目も多数。本人の能力次第で1年次から研究活動の中心である「研究会」へ参加できることも特徴の一つ。
- 他に類をみない多様な研究分野: 政策デザイン、社会イノベーション、国際戦略、経営・組織、都市・地域戦略、先端情報システム、先端領域デザイン、先端生命科学、環境デザイン、人間環境科学など。両学部合わせて年間で開催されているのは600科目以上。
- 充実した研究と学習支援体制: 教員が個々の学生の学習過程においてアドバイス・サポートをする「メンター制度」をはじめ、先端的な研究活動を行う「研究会」、学生を支援する教育奨励基金や各種奨学金制度も充実。
- 海外150の提携大学との交換留学制度: シンガポール国立大学(NUS)をはじめ世界のトップ大学で学ぶことも可能。

在学生より

幅広い分野を英日で学ぶ

総合政策学部 4年生(取材時) 井上 美佑 さん



10年以上も日本から離れていたため、日本独特の組織と文化を学べる最後のチャンスと捉え、GIGAを選びました。さらに、GIGAでは国際バカロレア(IB)でも受験でき、幅広い分野の講義を英語と日本語の双方で履修できる点が魅力的でした。研究会にも1年生から所属することができ、フィールドワークも行うことができます。

湘南藤沢キャンパスは一言で言うと「都内から簡単にアクセスできる別世界」です。自然豊かで四季折々に変化し、尊敬できる教授と学生たちに囲まれて常に刺激を受けて視野も広げることができています。私自身は2つの研究会で「公共政策」と「AI進化」が「どのように環境問題を解決できるか」というテーマで研究しています。体育会にも所属しており、他学年・他学部の学生と関係を築いていく中で、授業だけでは得られないことを学んでいます。

将来は日本の魅力を正当な価値で世界に届けながら、未来の地球と子どもたちのために働き、さまざまなバックグラウンドを持つ学友とともに培った視座や人脈を生かしていきたいと思っています。



関東学院六浦中学校・高等学校

https://www.kgm.ed.jp/

〒236-8504

神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1

京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩15分、

バス利用の場合、バス停「金沢八景駅」より乗車

京浜急行バス「関東学院循環」に乗りし、バス停「関東学院正門」下車

☎+81-45-781-2525 ✉kgmpress@kanto-gakuin.ac.jp



「隣人愛」を育む人間教育

本校は設立以来、キリスト教の精神を基に社会に貢献する人の育成に取り組んでいます。世界のフラット化が進む中では、生きる世界を別次元にも広げることがこれまで以上に重要です。「グローバル教育」とは、お互いの国が平和的な共存をどのように果たすかを真に学ぶことです。自分を愛するように互いに尊重し合うことの重要性を日常的に考えていきます。

未来に備える教育

校長 黒畑 勝男



海外でのプレゼンスが大きい日本の企業はますます外国人採用を増やすでしょう。日本の子どもたちの国内外での働く場をいかに確保するか。今日の教育に求められることは「未来に生きる力」を育てることです。一方、隣人愛を深く理解し平和を創る人を育てることが大きな課題です。

本校は、変わらぬ真理に立ち、変わるものへの対応力をつけながら、未来に繋がる教育に進進しています。本校に併設の寮は「小さな地球」がコンセプトです。多国籍・多文化の留学生がともに暮らし互いを理解し合う場で、学びの国際化を加速します。

カリキュラム

主体性を育み、未来に必要な資質とアカデミック・スキルを身につける

- 関東学院大学が隣接しているメリットを生かし、さまざまな分野で連携。「大学理科実験講座」では、中学生が大学の教授から直接指導を受け、大学での研究の最先端に触れる。
- 英語は「生きるための力」。Global English Teachers(GET)とJapanese English Teachers(JET)の総合的な指導で生きた英語を身につける。高い英語力を持つ生徒対象の取り出し授業も展開。また、IELTS講座、個人レッスンの講座も開講。
- 高等学校のGLE(Global Learning through English)は、「高い英語力」「日本語で書く力」「探究力」の3つに重点を置き、英語圏でも評価されるハイレベルな4技能獲得を目指す。「論理言語力」や「小論文」では、的確かつ論理的に伝える力を養う。
- DDP(Dual Diploma Program)は、卒業と同時にアメリカの高校卒業資格が認定される(受益者負担の)オプション・プログラム。通常カリキュラムとは別に、英語で行われる週6時間の学習に約2年間取り組む。海外大学進学がより身近になり、卒業後はアメリカの19大学の学部への推薦進学が可能。
- 中学の「地球市民講座」は本校独自の総合的な学習。「地球市民」としての素養を身につけ、高校での主体的な探究的な学びの時間で、地球規模の社会的課題への意識を深める。
- 「国際寮」を完備。関東学院大学が大学生向けに建てた寮で、コンセプトは「小さな地球」。海外からの帰国生や留学生、国内各所からの生徒が入寮し、多国籍・多文化の人たちが互いの文化を吸収し合う場となっている。

進路/合格実績

進路実現のための確かなサポートで夢を実現*

【国内大学】 東京大、東京医科歯科大、お茶の水女子大、香川大(医)、金沢美術工芸大、鹿屋体育大、九州大、信州大、筑波大学、都留文科大学、横浜国立大、横浜市立大、早稲田大、慶應義塾大、上智大、東京理科大、国際基督教大、学習院大、明治大、青山学院大、立教大、中央大、法政大、関西大、関西学院大、同志社大、立命館大、北里大、芝浦工大、日本大、立命館アジア太平洋大、関東学院大学 など多数

【海外大学】 University of Manchester、University of Melbourne、University of Liverpool、UNSW Sydney、King's College London、RMIT University、Taylor's University、Monash University、フロリダ国際大学、Arkansas State University、中原大学(台湾)、中國文化大學(台湾) など多数

*過去5年間の実績

入試情報

2025年度 帰国生入試 ※オンラインでの実施可能

■ 中学

試験日: 12月14日(土)、2025年1月25日(土)

科目: 国語・算数・面接

■ 高校

試験区分: A型:日本人学校在籍者 B型:現地校やインター校在籍者

試験日: 10月5日(土)、11月2日(土)、12月14日(土)、2025年1月25日(土)(全4回)

選考方法: A型:書類審査・オンライン面接

B型:基礎学力試験(国・数・英)・オンライン面接

出願基準:【A型(専願・併願)】

●5教科合計18/25または9教科合計32/45

●実用英語技能検定3級以上に合格しているか、

中学3年次の英語の評価が4以上

●GLEクラスを希望する場合には、準2級以上に合格

【B型(専願・併願)】

●日本の中学校に相当する課程の学業成績が良好

●実用英語技能検定準2級以上に合格、

またはこれに準ずる英語力

編入は
随時相談
受け付け

在校生より

英語力が向上し、将来につながる学び

高校1年 ジャクソン 佳連 さん



私は、1歳から14年間シンガポールで暮らし、日本人学校に通っていました。関東学院六浦を選んだ理由は、寮があること、そして特別なプログラムがたくさんあったからです。在籍しているGLEクラスでは探究の時間が多く、課題解決型の学びを深めるため、将来生かせる知識が身につくと感じます。授業は発表や議論も英語で行う機会が多いので、英語力が低下することはありません。帰国生が多く自由時間も会話はほとんど英語です。

寮では寮生と一緒に勉強したり、毎食友だちと一緒に食べることができるので、絆も深まり充実した日々を送っています。



桐朋女子中学校・高等学校

🌐 <https://chuko.toho.ac.jp/>

〒182-8510

東京都調布市若葉町 1-41-1

京王線「仙川」駅より徒歩5分

☎ +81-3-3300-2232 (国際教育センター直通)

✉ kokusai@toho.ac.jp



帰国生受け入れ65年の伝統校 帰国生が「あるがままの自分」でいられる学校

世界25カ国からの帰国生を含む多様な背景を持つ生徒たちが学ぶ本校は、グローバル時代に求められるスキルを育む多彩なプログラムを展開しています。特に「ことばの力」は全ての活動の土台になると考え、日・英両言語での「真のコミュニケーション能力」を着実に育みます。国際教育センターでは、帰国生の入学試験や転編入学の相談を受け入れ、入学後の学校生活のサポートも積極的に行っています。



帰国生受け入れ65年の伝統校として

校長 今野 淳一



中学・高校の6年間は、「大人として生きる姿勢」を形作る6年間です。本校には、帰国生に限らず、生徒一人ひとりの個性を尊重する環境があります。素の自分を否定されない環境があります。それが、帰国生が本校で「あるがままの自分」でいられることにつながります。深いところで互いを知るからこそ、一生の友だちができます。帰国生が培ってきた力と姿勢を更に引き出す教育を実践し、しっかりサポートする学校、それが桐朋女子です。

進路／合格実績

2024年合格 ※全て現役合格

東京藝術大 1名、早稲田大 6名、上智大 1名、明治大 2名、立教大 3名、中央大 1名、法政大 1名、学習院大 2名、同志社大 1名、東洋大 2名、杏林大 1名、帝京大 1名、東京女子大 1名、日本女子大 2名、学習院女子大 1名、白百合女子大 1名 他

入試情報

2025年度帰国生対象入試 本校にて実施

■ 中学

第1回 12月1日(日) 第2回 2025年1月22日(水)

試験内容: 外国語(英語、フランス語、ドイツ語のいずれか)による作文、面接(受験者のみ、日本語)

■ 高校

1月22日(水) 推薦入試A、B

※推薦入試A(現地校・国際校出身者用)、B(全日制日本人学校出身者用)

試験内容: 面接(受験者)のみ

1月22日(水) A選考(外国語による作文型)

試験内容: 外国語(英語、フランス語、ドイツ語のいずれか)による作文、面接(受験者のみ、日本語)

2月10日(月) B選考(筆記試験型)

試験内容: 筆記試験(国語・数学・英語)、面接(受験生のみ、日本語)

転入学・編入学試験(1月・4月入学) 本校にて実施

12月1日(日)、2025年3月1日(土)

募集学年: (1月)中1～高2 (4月)新中2・3、新高2・3

カリキュラム

海外で得たものを自信に変える6年間

- 異文化の人にも自分の気持ちや考え方を的確に発信するために、日・英両言語で「ロジック」と「発信力」を身につけ、世界で通じる「論理的思考力」を育む。
- 「リソ講座」では、海外生活では学習しなかった内容を補う。日本に帰国したばかりの生徒が対象で、学習歴が異なる生徒のため、少人数で各自のニーズに合うように工夫。
- 長期休暇にはニュージーランドへの留学プログラムや「豪州・シンガポール研修」を実施するなど、高度な英語教育・異文化理解教育を展開。TOEFLやSATの試験対策も外国人専任講師が細かく指導。
- 中学入試では、英語1科型試験「Creative English入試」を導入。準備課題+インタビュー形式。4技能だけでなく、英語でコミュニケーションをとろうとする意欲や姿勢を図る。
- 本校は「海外協定大学推薦制度(UPAA)」加入校のため、高校3年生の前期までの成績、学校の推薦で6ヶ国42の有名大学の合格を手に入れた。日本国内の大学との併願も可能で海外大学進学がより身近に。

卒業生より

互いを認め尊重し合う校風が魅力

上智大学 総合グローバル学部 1年生 M.Hさん



桐朋女子を選んだ理由は、緑の多いキャンパスが印象的で自然体で6年間を過ごせそうだと感じたからです。部活動や生徒会は生徒が主体となって執り行うことが求められるため仲間と議論を重ね悩んだこともありましたが、信頼できる仲間と過ごす時間は楽しく、実り多いひとときでした。学校には、皆が互いを認め尊重し合う校風があり、何かに一生懸命に取り組むことを後押ししてくれる環境があります。学習面では単元テストや小テストが短いスパンであるため、学習の習慣が自然に身についたことが良かったと感じます。ありのままの自分であることができ、さまざまなことに挑戦できる桐朋女子での生活は、きっと誰にとっても充実したものになるはずですよ。



国際基督教大学高等学校

https://icu-h.ed.jp

〒184-8503

東京都小金井市東町 1-1-1

JR 中央線武蔵境駅・三鷹駅 / 京王線調布駅よりバス

+81-422-33-3401



世界から、そして世界へ

毎年世界中約50カ国からの帰国生と、日本全国からの国内生がICU高校で出会います。異なる文化で生活してきた生徒たちは、ともに学び、お互い理解し受けとめることで、異文化の壁を乗り越えて大きく成長します。自分が知らないことを知ろうとする広い心と勇気を培うことで、「新しい価値観と文化」を発見していきます。

海外生比率
生徒の
約3分の2
が帰国生

ありのままの姿で

校長 中嶋 裕一



本校設立以降、言い続けているのはたったひとつ。「海外生活を楽しんでください。そしてありのままの姿でICU高校に来てください」それに尽きます。皆さんはマイノリティとして海外で、帰国後も、違和感や疎外感を覚えるかもしれません。それらを大切に、アイデンティティの礎にしてほしいと願います。その経験が他者への理解や共感、世界を立体的に見る目を育むのです。ここは生徒と教師が共に学びの場をつくる学校です。毎年春、世界中から集まる生徒との出会いを楽しみにしています。

カリキュラム

- さまざまなバックグラウンドを持った生徒に対応するために、多くの教科において到達度別のクラス構成。少人数のクラスにおいて活発な生徒同士・教員とのやりとりの中で、公に定められている履修内容を超えて、新しい知識・知恵・問題解決力を養う。
- 進路選択は、難関国立大学から海外大学、また分野も医薬・理工系から芸術系までと多岐にわたるため、さまざまな要求に応える多彩なカリキュラムをご用意。また3年生を対象に「自由研究講座」を開講し、大学での学びへつながる導入教育も行う。
- 建学以来少人数による主体的・探究的な学びを通して、これからの社会に必要な“考える力”を大学に先取りして教育。人生の土台となる確かな知識・技能に加え、未来を切り拓く思考力や表現力を養い、よりよい世界の実現のために共に力を尽くす心を育む教育を実施。



入試情報

2025年度帰国生入試概要

- 推薦入試(試験日:12月16日) 60名 選考方法:書類審査及び面接
 - 書類選考入試(試験日:2025年1月28日) 90名 選考方法:書類審査及び面接
 - 学力試験入試(試験日:2025年2月10日) 10名 選考方法:学力試験及び調査書(成績証明書)
- ※帰国生入試の受験には事前に帰国生徒資格認定で認定を受ける必要があります。
- 資格認定受付期限(日本時間) 2025年4月入学試験対象(1学年): 入力期間 5月7日(火) 10:00~11月21日(木) 23:59締切
- ※推薦入試は10月10日23:59まで



逗子開成中学校・高等学校

https://www.zushi-kaisei.ac.jp

〒249-8510 神奈川県逗子市新宿 2-5-1

JR横須賀線「逗子」駅、京浜急行「逗子葉山」駅より徒歩約10分

+81-46-871-2062

ウェブサイト「お問い合わせ」からご連絡ください



目の前の「海」を通して、自分と世界を学ぶ

1903年創立以来、「海」を活用した教育を行っています。ヨットや遠泳などの実践・経験からの学びと、大学や専門機関と連携したより深い講義が、生徒を大きく成長させます。

多彩なプログラムで時代を切り拓く力を

校長 小和田 垂土

本校の原点は、校名の由来である「開物成務(人間性を開拓・啓発し、人としての務めを成す)」にあります。本校の生徒は、多彩な授業やプログラムを通してさまざまなことにチャレンジし、失敗や成功を繰り返しながら変化に対応して時代を切り拓く力を身につけていきます。そして在学中に学んだ知恵と勇気を持って、未知の世界、新しい時代という大海原へと漕ぎ出していくことでしょう。



VRツアーはこちら

カリキュラム

帰国生と一般生が同じ環境で互いにチャレンジ

- 「海洋人間学」はヨット帆走と製作・遠泳・海洋特別講義からなる教科を超えたプログラム。
- 中3「NZ研修」、高2「アジア研究旅行」は全員参加の海外研修。
- カナダ・アメリカ・イギリスなどへの研修や短期・長期留学制度、海外大学進学サポートの他、多彩な国際交流プログラム。
- 知的好奇心を育む100講座以上の「土曜講座」。
- 徳間記念ホールでの「映画鑑賞」で豊かな感性を磨く。



海外生比率

8.3%

入試情報

帰国生入試 及び 編入試験

- 2025年度帰国生入試 試験日:2024年12月26日(木) (A) 国語・算数 または (B) 英語・算数
- 2025年度4月編入試験 試験日:2025年3月12日(水) 募集学年:新中学2・3年、新高校2年



清泉女学院中学高等学校

https://www.seisen-h.ed.jp/

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻 200

JR東海道線・横須賀線「大船」駅よりバス約5分

+81-467-46-3171

entrada@seisen-h.ed.jp



世界に40の姉妹校を持つカトリック校

「平和の種をまく人」を育成するために、理念を同じくする世界各国の40校ほどの姉妹校とともに、多様な学びを実践しています。キャンパスは湘南の高低い丘の上に位置し、自然環境にも恵まれています。

カリキュラム

「知性」と「心」を育てる 4つのスペシャルプログラムを展開

- ライフオリエンテーションプログラム
中1から高3の6年間一貫して、体験型の「心の教育」を行う。
- グローバルプログラム
地球市民としての責任と自覚を促し、持続可能な社会をつくり上げていく使命感とスキルを身につけるため、教科を越えた多様な学びを実践する。
- ライフナビゲーションプログラム
具体的に未来を思い描き、将来の目標を明確化するため、大学の授業体験や職場見学、社会人の講演などを通して社会との接点を経験させる。
- サイエンス・ICTプログラム
洞察力と思考力を育むため実験観察授業や野外学習を行う。科学技術や工学分野への関心の幅を広げるため、中1からプログラミング講座を実施しICTを活用した協働学習を行う。



チャレンジャーであれ

校長 小川幸子



ここ数年で中高生をとりまく状況は大きく変わりました。高校3年生の時に多くの生徒は18歳を迎え成人となります。自分たちの判断でできることが増えると同時に責任も重くなります。中高時代に自ら学びを深め、行動を起こす経験をするのとしないのでは、将来に大きな差がつかれます。これからの時代を生き抜いていくため、清泉では、生徒が自分で考え、チャレンジする機会を積極的に提供しています。

入試情報

2025年度 帰国生入試 および オンライン帰国生入試【中学】

- 帰国生試験:12月8日(日)
A方式:作文(日本語)・算数・面接
B方式:作文(日本語)・英語・面接(英語)
※英検1級または準1級を取得済みの場合は英語の筆記試験は100点換算で免除。
- 海外在住者専用オンライン帰国生入試:
日程は本校ウェブサイト参照。*帰国生試験に合わせて帰国できない方が対象です。
A方式:国語・算数 B方式:国語・英語の口頭試問



桐光学園中学校・高等学校

https://www.toko.ed.jp/high/

〒215-8555 神奈川県川崎市麻生区業木 3-12-1

最寄りの小田急多摩線栗平駅まで新宿駅より28分、川崎駅より45分、横浜駅より43分、武蔵小杉駅より30分、本厚木駅より30分、藤沢駅より36分(栗平駅からは徒歩約12分)

+81-44-987-0519 info@toko.ed.jp



新校長、新副校長 就任!

本校は、2028年に高校創立50周年を迎えるにあたり、学園のグローバル化を加速します。世界が注目する教育先進校「High Tech High」の授業を盛り込んだ「San Diegoプログラム」や、ケンブリッジ大学やイートン校などへの短期留学。カナダの高校卒業資格も取得できる「ダブルディプロマ」や、国内大学の受験に集中しながら負担なく海外名門大学を受験できる「グローバル併願」を設定します。また、運動部20種・文化部32種に及ぶ部活動や委員会活動など、生徒の多様性を尊重するシステムのさらなる充実を図ります。



多様な選択肢で夢を実現

校長 岡村 薫



本校のビジョンは、知識、創造性、そして共感力を備えた生徒たちが、グローバル社会に求められるリーダーとしての未来を築くことです。そのため、やりたいことがある人、これから見つけたい人のために多様な選択肢を準備しています。そこで本年度より、中学入試(3B入試)は、これまでの各種資格だけでなく、入学意欲も重視した形式に。学校見学では私が直接ご案内し、お子さまの将来について語り合いたいと思っています。ぜひお越しください。

カリキュラム

帰国生の力を生かす学習環境

- 特性に応じた授業展開によって、それぞれの強みを発揮しやすい「男女別学」
- 高い専任率に基づく「担任2人制」できめ細かい教育活動
- 「大学訪問授業」では、池上彰・羽生善治・根岸英一など、さまざまな分野の第一線で活躍する研究者などを招く
- 基礎から大学別入試対策にいたるまで600超の講座を講習。多くの生徒が予備校や塾に通うことなく、東大・京大などの国公立難関大学、慶応大・早稲田大など私立難関大学に合格。大学の指定校枠も多数。
- 1クラスは38名程度で、アジア圏からの帰国生も多数。帰国生希望者には「英語取り出し授業」を実施。
- 中2より特進クラスを設置。高2より志望大学にあわせた4コース制を採用

入試情報

- 帰国生入試(中学・高校) 1月5日(日)、WEB出願
中学:英数国から2教科選択(80分)、面接(受験生のみ、日本語での授業に問題がないかを確認する程度)
高校:英語(英文和訳・英作文・英文エッセイ・リスニングなど)、面接(受験生のみ、日本語)。
- 入試説明会 中学:3B入試説明会 10月27日(日)



富士見丘中学高等学校

http://www.fujimigaoka.ac.jp

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 3-19-9

京王線笹塚駅より徒歩5分

☎ +81-3-3376-1481

✉ info-mail@fujimigaoka.ac.jp



多様な価値観・個性を活かす グローバル教育推進校

1940年の創立以来「国際性豊かな若き淑女の育成」を教育目標に掲げ、先進的な英語教育・国際理解教育に取り組んできました。文部科学省から、2015年度にSGH(スーパーグローバルハイスクール)、2020年度からWWL(ワールドワイドラーニング)コンソーシアム拠点校の指定を受け、先進的な英語教育とICTを活用した探究学習を実践しています。イギリス・オーストラリア・カナダ・ガムの姉妹校へのターム留学制度など、海外との交流も活発です。



グローバル社会で活躍するために

校長 吉田 晋

帰国生のみなさんは、若い時代に異文化を肌で体験し、一人ひとりが貴重な経験をしています。しかし海外で培った経験や英語力も、それを生かす教育環境がなければ将来のためにそのアドバンテージを伸ばしていくことができません。帰国生専門の学習サポート室、英語取り出し授業など、多様な学習履歴をもつ帰国生を受け入れる体制を整えた本校では、多くの帰国生が生き生きと学んでいます。グローバル社会で活躍する力を育てていくのが富士見丘学園の使命です。



カリキュラム

帰国生の力を生かす学習環境

- 中・高ともにネイティブ教員が指導する英語上級プログラムを実施。海外の現地校・国際校と同レベルの英語の授業を提供。
- 高大連携で実施する「グローバルスタディ基礎・演習」では、グローバルな社会課題を探究し、国内外のフィールドワーク、英語プレゼンテーションを実施する。
- 各学年に学習サポート担当を置き、「日本語キャッチアップ講座」で漢字・理科・社会などの日本語学習をフォロー。



入試情報

海外生特別入試(シンガポール会場)

2024年11月9日(土) 中学入試・高校入試・転編入試験

帰国生入試

■ 中学: ① 2024年11月20日(水) ② 2025年1月16日(木)

■ 高校: ① 2024年12月10日(火) ② 2025年1月16日(木)



立命館宇治中学校・高等学校

https://www.ritsumei.ac.jp/uji/

〒611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷 33番1

近鉄京都線「大久保」駅、JR奈良線「新田」駅よりバス約10分

☎ +81-774-41-3000 ✉ uji-rtn@ujc.ritsumei.ac.jp



新高校生徒寮 2026年4月オンキャンパスに完成

学んだ分だけ、世界が近くなる Your Link to the World



本校は、国際型中高一貫校として、多彩なプログラムを展開しています。関西で初めて一条校(学校教育法第一条における「学校」として国際バカロレア(IB)校に認定されるなど、わが国の国際教育を先導してきました。国際的な取り組みが日常にあふれるなか、帰国生が安心して日本の教育に順応し、海外で培った語学力や国際感覚、そして学力をさらに磨ける環境を整えています。



世界で輝く未来の君を見つけよう

校長 越智 規子

本校は、グローバル化の進む世界において、高い志とチャレンジ精神を持った人、責任感を持って行動できる人を育てたいと考えています。これらは教科書での学習に加えて、学校でのさまざまな活動でリーダーシップをとることを通して得られるものです。そのような人格形成において、本校は理想的な場所といえるでしょう。巣立った生徒たちが世界の舞台で活躍する未来を見据えて、多彩で豊かな授業・教育プログラムを用意してみなさんをお待ちしています。



カリキュラム

■ 中学校・IPコース

将来、本校のIBコースに進学することを目指す中学生が対象。言語運用能力はもちろん、セルフマネジメント、クリティカルシンキング、リサーチスキル、コミュニケーションスキル、ソーシャルスキルなどを醸成。

■ 高校・多様性あふれるコース選択

IBディプロマと高校卒業資格の両方の取得を目指す「IBコース」、1年間の留学と帰国後のイメージ授業を実施する「IMコース」、大学附属の強みを生かし、文理の枠を超え、自らのキャリアに応じて学ぶ「IGコース」。

■ 帰国生に応じた学習支援(中学ICコース、高校IGコース)

中学では英語のグレード別授業に加え、入学後1年間国語・社会・数学・理科の放課後補習授業を実施。高校では1年次に国語・社会・数学をそれぞれの習熟度に応じたクラスで学ぶことが可能。

入試情報

2025年度 国際(帰国生徒・外国籍生徒) 入学試験

■ 中学 11月30日(土) 本校・上海・シンガポール・フランクフルト・ニューヨーク
2025年1月18日(土) 本校

■ 高校 11月30日(土) 本校・上海・シンガポール・フランクフルト・ニューヨーク
2025年2月10日(月) 本校

※11月30日(土)の入試を海外会場で受験する場合、面接はオンラインにて11月24日(日)に実施します。両日の出席が必要です。